

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
厚木市	相川地区	令和4年10月1日	令和5年4月1日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	107ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	62ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	31ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	16ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	2ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	2.88ha
(備考)	

2 対象地区の課題

農地のマッチングや農地流動化奨励金をはじめとした農地集積への取組によって農地の貸付が進んでいる地区であるものの、引き受けの意向に対して貸付けの意向が少ないため、農地のマッチングに対する要望が多くなっている。 また、担い手の確保・育成に対する支援と営農継続に関する支援の充実が求められている。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

当地区は、自己所有地での営農が多く、農地の貸付け希望が少ないものの、中心経営体からの農地の引き受け希望が多くなっているため、それらの中心経営体に農地を集積していく。
--

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	農業を営む範囲
認農	A	施設野菜＋稲作	0.6 ha	施設野菜＋稲作	0.6 ha	相川地区内
認農	B	温室切花	0.67 ha	温室切花	0.67 ha	相川地区内
認農	C	温室切花	0.75 ha	温室切花	1.2 ha	相川地区内
認農	D	施設野菜	0.45 ha	施設野菜	0.45 ha	相川地区内
認農	E	複合経営	0.88 ha	複合経営	1.05 ha	相川地区内
認農	F	複合経営	0.2 ha	複合経営	0.3 ha	相川地区内
認農	G	複合経営	1.63 ha	複合経営	2.06 ha	相川地区内
認農	H	施設野菜＋露地野菜	0.45 ha	施設野菜＋露地野菜	0.75 ha	相川地区内
認農	I	複合経営	0.47 ha	複合経営	0.47 ha	相川地区内
認農	J	複合経営	1.2 ha	複合経営	1.2 ha	相川地区内
認農	K	稲作＋果樹類	1.5 ha	稲作＋果樹類	1.5 ha	相川地区内
認農	L	温室鉢物	0.6 ha	温室鉢物	0.6 ha	相川地区内
認農	M	温室鉢物	1.05 ha	温室鉢物	1.05 ha	相川地区内
認農	N	施設野菜＋稲作	0.6 ha	施設野菜＋稲作	0.7 ha	相川地区内
認農	O	複合経営	0.63 ha	複合経営	0.63 ha	相川地区内
認農	P	稲作＋露地野菜＋施設野菜	2.27 ha	稲作＋露地野菜＋施設野菜	2.27 ha	相川地区内
認農	Q	複合経営	0.82 ha	複合経営	0.82 ha	相川地区内
認農	R	果樹＋稲作＋養蜂＋施設野菜	1.4 ha	果樹＋稲作＋養蜂＋施設野菜	1.5 ha	相川地区内
認農	S	複合経営	0.9 ha	複合経営	0.9 ha	相川地区内
認農	T	施設花き＋稲作	1.2 ha	施設花き＋稲作	1.7 ha	相川地区内
認農	U	複合経営	1.65 ha	複合経営	1.65 ha	相川地区内
認農	V	施設野菜	0.75 ha	施設野菜	0.75 ha	相川地区内
認就	W	複合経営	0.05 ha	複合経営	0.78 ha	相川地区内
計	23 人		20.72 ha		23.6 ha	

注1:「属性」欄には、個人の認定農業者は「認農」、法人の認定農業者は「認農法」、認定新規就農者は「認就」、法人化や農地集積を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」と記載します。

注2:「今後の農地の引受けの意向」欄については、現状からおおむね5年から10年後の意向を記載します。

注3:「経営面積」欄には、プランの対象地区内における中心経営体の経営面積を記載します。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

農地の貸付け等の意向

貸付け等の意向が確認された農地は無いものの、高齢化により今後、遊休農地化する農地の発生が危惧されとの意見があるため、引き続き貸付け等の意向の把握に努める。

中心経営体への農地集約化の方針

中心経営体からの農地の引き受け希望があるものの、当地区は、所有者自身での営農が盛んに行われているため、貸付け等に関する意向が確認できていない。中心経営体等に対する営農継続支援への要望も強いこともあり、農地を引き受ける中心経営体への必要な支援を研究すると共に貸付け等への理解を深めてもらえるよう、農地のマッチングを進める。

(参考) 農地の貸付け等の意向

	農地の所在(地番)	貸付け等の区分(m ²)		
		貸付け	作業委託	売渡
1				
2				
3				
4				
5				
6				
計		0	0	0